

大阪府立西野田工科高等学校 学校運営協議会(全日制部会)議事録

校名	府立西野田工科高等学校学校
校長名	中島彩子

開催日時	令和3年2月12日(金) 15:00 ~ 16:30
開催場所	府立西野田工科高等学校学校 校長室
出席者(委員)	尾松 正章会長、田中克佳委員、馬場多美枝委員、矢野裕史委員
出席者(学校)	中島校長、小笠原事務部長、梶田教頭、松本首席、木村首席、長澤首席
傍聴者	0名
協議資料	
備考	

議題等(次第順)

- ・令和2年度学校経営計画について
- ・令和2年度学校教育自己診断について
- ・本校の状況について
  - ①新型コロナウイルス感染症関連
  - ②首席より
  - ③各学年より
  - ④分掌等より
  - ⑤専門系

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和2年度学校経営計画について
 

生徒にとっても教師にとっても授業を大切にしていけることが大切。過去の3カ年の数値と今年度の数値を比べると少しずつだが伸びている。人間性を高めるための規範意識に関しては、人権学習などをする中で、今までより高い数値となっている。

生徒の自己実現に関連してはキャリア教育や教育相談活動を進めているが、コロナ禍においていい数字が出ないと思っていたが肯定数がかなり上がった。

保護者の学校行事参加率はコロナ禍で様々な学校行事が中止になったこともあり下がった。

防災教育に関しても力を入れていっているが、防災意識が前年度より上がったことは今後進めていくうえで良い動機付けになると考える。

(委員の意見)社会が変化していく中で、子どもたちを第一に考え、早く日常を取り戻すためには学校の役割は大きい。
- ・令和2年度学校教育自己診断について
 

今年度はコロナ禍において、オンライン化を進めており、実施方法を紙ベースから変えた。そのため生徒も保護者も集約数が減っている。効率化はできたが、回収率を上げるために課題も見つかったので、今後対応していきたい。コロナ禍にもかかわらず生徒の「学校へ行くのが楽しい」や「授業が分かりやすい」の設問に肯定的な回答率が大きく上がった。再開後、丁寧に生徒にかかわったことも一因かと考える。

PTA活動がほとんどなかったが、今年度の数字は昨年まで参加率が反映していると考え。

反省すべきところを踏まえ、今後の学校教育活動に取り組んでいきたい。

(委員の意見)社会は確実に変わり効率化は必要だが何もかもがITというのは如何なものかと思うので使い分けをしてもらいたい。
- ・本校の状況について
  - ① 新型コロナウイルス感染症関連
 

6回の臨時休業があり体育祭と文化祭が中止となった。本人の体調不良や家族が感染して濃厚接触者になりPCR検査を受けた生徒が多数あり、うち陽性になった生徒が複数人出た。感染症予防対策としては登校後の手洗いとマスク着用用の徹底を基本に校舎出入り口食堂に手指消毒アルコールを設置している。出席停止になった生徒には学習保証をしている。
  - ②～⑥ 各部署より報告
- ・意見交換
 

学校教育計画のめざす学校像は頻繁に変えるものではないのでこれでよいと思う。中期目標の数字も確実に上がっている。今後教育のIT化は加速するだろうが、教員余力を生み出すためにも活用は進めるとよい。不慣れなこともあると思うので活用のために研修をやることも必要。

有事で大変な1年だったと思う。少子化で子どもが少ない中、一人でも多くの生徒が集まるよう魅力を発信していることが分かった。西野田のいいところを知ってもらい呼びかけずともたくさんの生徒が来てくれる学校をめざしてほしい。IT化が進むことは仕方ないが、人間関係を構築することが大切なのでバランスをとってほしい。

「学校に行くのが楽しい」という回答が多かったのは、コロナ禍において今まで当たり前だった友達と会うことが当たり前でなくなり、立ち止まり考えたからではないかと思う。日常のありがたさが気が付けたのかもしれない。

次回の会議日程

日時	令和3年度
----	-------

会場

校長室